

医療におけるITの重要性

電子カルテ導入の意義と問題点

我々人類は今、アルビン・トフラーの提唱する「第三の波」すなわち「情報革命の時代」を迎えています。コンピュータとインターネットの進歩による情報のグローバル化は医療の分野においても大きな変革をもたらしました。例えば、昔は手書きでやっていたレセプト請求も今ではコンピュータに変わり、一般検査や心電図、レントゲン撮影やCTなどの検査もオンラインシステムを利用すれば依頼項目をパソコンに打ち込むだけで瞬時にそれぞれの部門に届くため、従来のように職員がカルテ類を持ち運ぶ必要がなくなり搬送業務の効率化が図れるようになりました。

私たちの病院では2006年11月に電子カルテへの移行を目指して、まずオーダーリングシステムを導入し、試行錯誤の後2009年11月に電子カルテ化に踏み切りました。それにより検査依頼の効率化のみでなく紹介状も読みやすく標準化された形式となりました。また、薬剤情報を検索すれば薬剤の剤型、作用、投与量および副作用や併用禁忌などが直に分かり、診療情報が必要な時はハードディスクに内蔵された「今日の治療指針」などを検索すれば知りたい最新の医療情報を容易に入手出来るなど、診療のレベルアップと医療安全にも大きく寄与しています。



また、紙のカルテに比べ電子カルテは視認性においては若干劣りますが、慣れればさほど気になりません。逆に今までプリントで見ていた胃・大腸カメラ像や、フィルムで見ていたレントゲン写真やCT画像などをPACS(医用画像管理システム)の導入により動画などをまじえてディスプレイ上で患者さんが感動されるくらいきれいに見ることが出来ますし、検査データやその時系列グラフなどを患者さんと一緒に見ながら説明することが可能となり、患者参加型医療の実践にも役立つています。

すなわち電子カルテは患者さんに「より分かりやすい説明なしインフォームド・コンセント」を提供し、医師などにとつては強力な検索、通信機能を持つ診療支援のツールとなり、病院にとつては多職種のスタッフによる患者中心のチーム医療の推進役となる重要なシステムと言えますしよ。

以上、当院における電子カルテ化と主にそのメリットについて述べましたが、問題点としてはIT化に巨額の費用がかかること、医師の仕事量が増加するため看護師や医療事務職員によるサポートが必要となることです。

最近の調査では、全国の病院の電子カルテ化は10年前に比べてほとんど進捗していません。前自民政権は10年前より「医療のIT戦略と目標」を掲げながら、このような問題点を解決する思い切った対策や支援をすることが、医療費削減政策により経済的にゆとりを失った多くの病院の自助努力に任せてきました。国民にとつて将来的に大きな恩恵があると考えられるレセプトオンライン化についても、外国ではオンライン化した医療機関に対しては相応のメリットを与えているようですが、日本では医療機関自体には本来伴うべき恩恵が何もない状況です。また今後、各病院の電子カルテ化が進んだとしても現在ののように他の医療機関と医療情報の互換性がなければ国民にとつて真の利益には繋がらないでしょう。早く国と企業が協力して標準フォーマットを作成し、IT機器の互換性を可能にしてもらいたいです。

お隣の韓国では国を挙げて真剣に医療分野のIT化に取り組んでおり、電子カルテ化も日本より遥かに進んでいます。また、アメリカではオバマ大統領が経済政策の二環として全医療機関の電子カルテ化を挙げていて、1兆円を投資すると8兆円の医療費削減になるともいわれています。現自民政権はこれからの少子高齢化社会における医療と社会保障におけるITの重要性を再認識し、大胆な国家的IT戦略を迅速に実行されるよう心から念願しています。

(豊田)

がん治療新時代

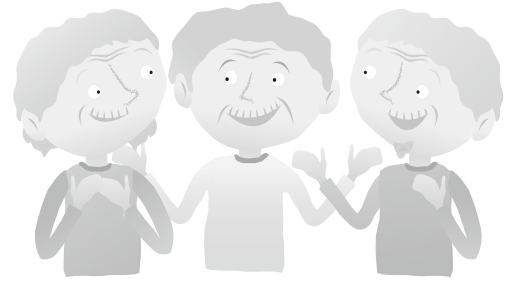
この表題は本年一月二十四日に大分コンパルホールで行われた大分大学医学部臨床腫瘍医学講座主催の県民講座の表題です。

さすが大学の先生の表題のつけ方はスマートで分り易いので、今回は名前をお借りすることにしました。

二十一世紀になってがんの治療は、細胞のがん化のメカニズムの解明が進み、がんの治療薬についても目覚ましい進歩が見られます。私の専門の血液のがんについても大きな進展があり、血液のがんの幾つかについてはほぼ根治出来たように見えます。

私が医師になった頃、もう五十年前のことですが、白血病はミゼロフルな病気でした。診断はついても的確な治療法はなく、七十年代に東北大学宇塚善郎先生の開発された白血病二段療法という新しい抗がん剤による治療(化学療法)が始まって白血病に治療の目処がつき、がん化学療法の時代が始まりました。

がん化学療法の進歩で白血病の生存率は飛躍的に伸びて、白血病は治療可能な病気といえるようになりました。



また骨髄移植という新しいがん治療法が開発されてさらに成績が良くなり、白血病の治療条件によっては十年生存率が八十%に及ぶようになってきました。そしてほぼ治療と考えられる患者さんも増えてきました。

しかし、治療に至るまでの治療は大変なもので、髪が抜けたり、高熱が出たり、患者さんが受けねばならない治療はいばらの道でした。

二十世紀の終わりに近い八十年代末に、慢性骨髄性白血病という血液がんの細胞の遺伝因子の解明が進み、がん化のメカニズムが分ってきました。

細胞のがん化は遺伝子の異常によって起こることがわかり、その異常遺伝子が作り出す物質によって細胞が果てしなく増えることがわかってきました。そして増殖を促す物質をブロッ

クすることで、がんの増殖を止めることが出来ることが分かり、九十三年に細胞のがん化を促す物質をブロックする薬イマチニブが開発されました。

このイマチニブという薬(分子標的薬といえます)は内服薬ですが、この薬を毎日服用するだけで、死の病であった慢性骨髄性白血病を治すことが出来るようになりました。髪の毛の抜ける副作用も無く、発熱も無く薬の服用を続けるだけで遺伝子学的な検査でも正常と考えられる患者さんが増えていきます。八年生存率は九十三%に及びます。まだ治療が始まって十年の経験しかないため完全に治療といえるかという問題は残っていますが、少なくとも白血病の二つは飲み薬で治ることが分ってきました。

もう一つ、急性前骨髄球性白血病という非常に経過の早い重篤な白血病がありました。この病気は細胞が正常に発育出来ないために細胞が壊れて出血を起して亡くなってしまつ病気です。この病気については八十七年に、ビタミンAの誘導体を服用することで、略治療に導けることが中国で報告されました。その後、急性前骨髄球性白血病は極めて予後の良い病気になっています。

白血病については何れも分子標的

薬と呼ばれる薬の効果でがんが克服されており、その薬はマジック・キャンサー・パレット(魔法の弾丸)と呼ばれています。

それでは血液のがん以外のがんではどうなっているのでしょうか。がん発生のメカニズムの解明が段々に進み、多くのがんで分子標的薬の開発が行われています。そしてそれぞれの分野で著明な効果を現しています。まだ白血病ほどの効果のあるものはありませんが医療は着実に進歩を続けています。

間もなく、それもそう遠くない時期にがんは治療可能な病気になります。がんを恐れなくてもよい時代を目指して世界の研究機関は日夜努力を続けています。

あの死の病と恐れられたエイズも、治療法の進歩で、早期に治療が出来るとほぼ血液中のウイルスを証明出来なくなるまでになりました。

これまで人生は百年と言われてきました。しかし感染症が克服され、がんが征圧されるようになると人は百二十才まで生きるようになりましょう。人生百二十の時代はすぐ其処まで来ているといつてよいのではないのでしょうか。



リハビリテーションセンターのご案内

当院では理学療法、言語聴覚療法部門に加え、今年度より作業療法部門がスタートしました。理学療法、作業療法部門では患者さんの入院中の基本動作や日常生活動作の改善を行っていくとともに、家庭や社会復帰に向けて在宅訪問指導や家屋調査による住宅改修のアドバイスを行っています。退院した後は必要に応じて外来リハビリテーションまたは訪問リハビリテーションの利用を勧め、患者さんのご自宅での生活支援も行っています。

また、言語聴覚療法部門では言語やコミュニケーション、食べること、飲み込むことに障害のある患者さんに対し、読む、書く、聞く、話す、食べるなどの機能の回復や維持に向けた支援を行っています。

昨年11月には個室訓練室をはじめ、キッチンや畳の部屋、広々としたコミュニティの空間を設けたリハビリテーションセンターのリニューアルが完成しました。手工芸や園芸、



リハビリルーム

音楽などを取り入れた作業療法や、患者さんの日常生活をイメージしながらの訓練に取り組んでいます。今後は、リハビリテーションセンターに集うことで患者さん同士のコミュニケーションの機会を増やし、活気のある生活を送っていただけるように支援していきたいと考えています。

リハビリテーションのスタッフ一同頑張っていきますので、これからもどうぞよろしくお願いいたします。



言語療法室



家事動作訓練室



作りま専科

砂肝のカラフルピーマン炒め

【材料】(4人分)

砂肝 …………… 薄切り200g程度
 カラーピーマン …… 赤・黄・オレンジなど3個
 にんにく …………… 1片みじん切り
 小ネギ …………… 少々

酒 …… 下茹で用・大さじ1
 醤油 …… 大さじ1と1/2
 サラダ油 …………… 大さじ2
 塩、こしょう …… 適量

〈作り方〉

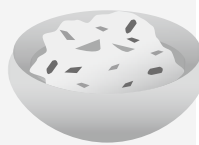
- ① ピーマンは食べやすい大きさの細切りにする。
- ② 砂肝を下茹でする。鍋にお湯を沸かし、酒を入れて茹でる。後で炒めるのでさっと茹でればよい。ざるに取り水を切っておく。
- ③ フライパンにサラダ油を入れ、にんにくを炒め香りが出てきたら砂肝を入れて炒め、次にピーマンも加えて炒める。このとき砂肝の表面がカリッとする位になるまで炒めると美味しい。ピーマンは炒めすぎないように注意!
- ④ 醤油をまわし入れ、塩、こしょうで味を調べて小ネギを散らす。



グリーンアスパラの豆腐和え

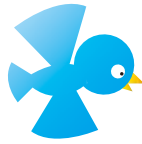
【材料】(2人分)

絹ごし豆腐 …… 1/2丁
 アスパラ …… 2本
 かにかまぼこ …… 1~2本
 スナップエンドウ …… 4本
 みりん …… 小さじ1/2
 しょうゆ …… 小さじ2
 すりゴマ …… 大さじ1
 かつお節 …… 少々
 塩 …… 少々



〈作り方〉

- ① 豆腐は水を切っておく。
- ② アスパラは固い部分の皮をピーラーで取って3cm長さに切りさっと茹でる。
- ③ かにかまぼこは3cm長さに切り、ほぐす。
- ④ 調味料のみりんとしょうゆを合わせる。
- ⑤ スナップエンドウは2等分してさっと茹で、茹で上がった熱いうちに調味料につけておく。
- ⑥ ⑤にアスパラ、かにかまぼこを入れる。豆腐は手で崩して入れ、すりゴマ、かつお節を加えてさっと和える。味をみて塩を加え、小鉢に盛る。



新入職員の紹介

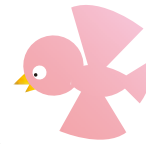
爽やかな風が心地よい

新緑の季節を迎えました。

今年の7月～4月に入社した

フレッシュな新入職員を

ご紹介します。



齊藤 久美(看護部)

1日でも早く仕事を覚えて皆さんの力になれるよう、そして少しでも患者さんの心の支えになれるように努力していきたいと思ひます。



土橋 奈美(看護部)

出会った患者さんご家族の方に、ありがとうと言われる看護をやっていきたいです。



澁谷 由姫(看護部)

仕事を早く覚えて、患者さんの気持ちに寄り添った看護が出来るよう努力します。



利光 実緒(看護部)

誰からも気軽に声をかけていただけるよう早く仕事に慣れ、親切丁寧な仕事を心がけて皆様とのふれあいを大切にしていきたいです。



川上 恵子(看護部)

感謝の気持ちを忘れず、心のある看護をしていきたいです。



後藤 伊都子(看護部)

仕事を早く覚えられるように精一杯頑張りたいと思ひます。



児玉 璃奈(看護部)

1日でも早く仕事を覚えて笑顔を忘れず、患者さん1人1人に合った看護が出来るように日々学んでいきたいです。



河合 由貴(看護部)

1日でも早く仕事に慣れ、患者さんに寄り添った看護が出来るよう頑張ります。



末本 ひとみ
(リハビリテーション科)

少しでも患者さんのお役に立てるようにがんばりたいと思ひます。



宮崎 大輔
(リハビリテーション科)

患者さんとの出会いやスタッフの皆さんとの関わりを大切に、たくさん笑顔を作り出したいです。



中尾 彩
(リハビリテーション科)

病院スタッフの一員として少しでも患者さんのお役に立てるよう勉強していきたいと思ひます。



幸 奈津希
(リハビリテーション科)

少しでも患者さんが楽しいと思えるようになりハビリを行っていきたく思ひます。元気良く頑張ります。



小野 あゆみ(臨床工学科)

1日でも早く業務に慣れ、臨床工学技士として役立てるよう努力していきたいと思ひます。



管 かおり(臨床工学科)

早く仕事に慣れ、患者さんから信頼される臨床工学技士になれるよう一生懸命頑張ります。



田中 麻美(医療事務課)

少しでも早く病院に慣れて仕事を覚えたいと思ひます。一生懸命頑張ります。



長野 かずみ(医療事務課)

まだ分からないことだらけで、ご迷惑をおかけすると思ひますが『日々努力』で頑張ります。



比嘉 梓(医療事務課)

初めて経験することが多く不安もありますが、早く業務に慣れ病院スタッフの一員として頑張っていきたいと思ひます。



吉田 唯香(医療事務課)

1日でも早く仕事を覚えるよう一生懸命頑張ります。



岡村 有夏(栄養科)

早く職場の雰囲気慣れ、調理も早く覚えられよう一生懸命頑張ります。



編集後記

新しい年度を迎え、いろいろな所で新たなスタートが切られました。

当院でも新入職員を迎えましたが、新入職員だけでなく迎え入れるスタッフにとっても新しい出会いとなりました。出会いは変化や成長のきっかけとなり、様々な分野で一つの出会いが物事に影響を与え進歩させてきました。周りを見れば、自分の近くには大事にすべき出会いがたくさんあることに気付くでしょう。(上土井)

医療法人 大分記念病院

基本理念

- 1) 私達は患者の皆様を中心とし、病院各部門が一致協力しチーム医療を行うことで、患者の皆様への満足と幸福に貢献することを目標とします。
- 2) 私達は地域社会の一員として、地域の健康増進と幸福の追求に貢献するために努力します。
- 3) 私達は病院の発展と安定とによって、地域社会の医療連携の一翼を担うことを目指します。

基本方針

- 1) 高水準の専門医療技術をもって、患者の皆様への治療に当ります。
- 2) 患者の皆様への立場に立って、信頼と安全の確保に全力を挙げます。
- 3) 患者の皆様との心のふれあいを大切に、心のこもった医療サービスに努めます。

大分記念病院ホームページはこちらから

大分記念病院

検索

簡単になりました